

## 第45回 中川 威さん（国立長寿医療研究センター）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第45回目は、中川 威さんにご執筆いただきました。

生きて、いつか死にゆく人はどのように変わっていくのだろう

生きて、いつか死にゆく人がどのように変わっていくのかを知るために、同一人物を2時点以上の時点で観測する縦断研究に参画してきました。

縦断研究には、時間、資金、人員といった多大なコストがかかり、短期的には成果が出にくいリスクがあります。そのため、一次データを収集するだけでなく、収集済みの二次データを分析しています。

高齢になると、大切な人との死別、健康の低下といった喪失が重なり、生きることが困難になるように思えます。実際には、多くの人は思いわずらうことなく楽しく生きられることがわかってきました。人が弱さと強さを抱えてどのように生き、死に至るかを知るために、これからも縦断研究に参画したいと思います。

中川 威（Takeshi NAKAGAWA）さん

【ご所属】 国立長寿医療研究センター

【ご連絡先】 [ntakeshi@ncgg.go.jp](mailto:ntakeshi@ncgg.go.jp)

【ホームページ】 <https://researchmap.jp/spinkids/>

【その他】 他学会の若手の会を運営しています (<https://sites.google.com/site/sgswakate/home>)。

心理学関連学会の若手の会に関わる方とも情報交換や交流ができれば嬉しいです。